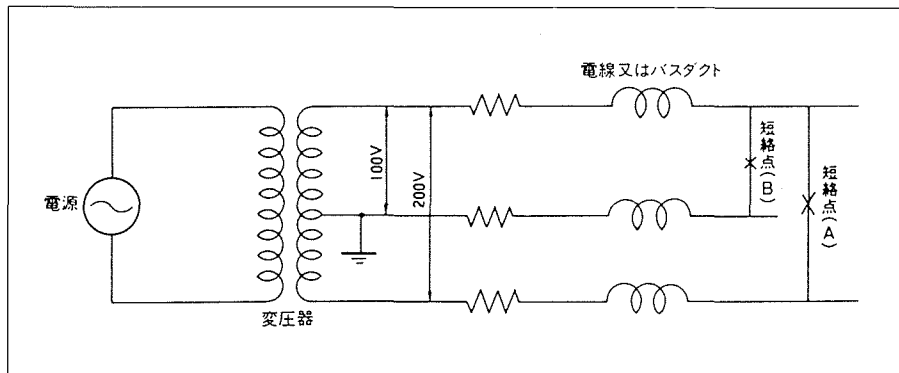


単相3線式回路における短絡電流の計算方法

基本回路



単相回路では電動機負荷の占める割合が少ないので、短絡発生時の電動機発電作用を無視して計算する。

計算式

$$\text{抵抗分 } R = \left[\begin{array}{c} R_T \text{ 変圧器のインピーダ} \\ \text{(付表11) ンスの抵抗分} \end{array} \right] + \left(2 \times \left[\begin{array}{c} R_B \text{ バスダクトのインピー} \\ \text{(付表7,9) ダンスの抵抗分} \end{array} \right] \right) + \left(2 \times \left[\begin{array}{c} R_L \text{ 電線のインピーダン} \\ \text{(付表8,10) スの抵抗分} \end{array} \right] \right)$$

$$\text{リアクタンス分 } X = \left[\begin{array}{c} X_T \text{ 変圧器のインピーダンスの} \\ \text{(付表11) リアクタンス分} \end{array} \right] + \left(2 \times \left[\begin{array}{c} X_B \text{ バスダクトのインピーダン} \\ \text{(付表7,9) スのリアクタンス分} \end{array} \right] \right) + \left(2 \times \left[\begin{array}{c} X_L \text{ 電線のインピーダンスのリア} \\ \text{(付表8,10) クタンス分} \end{array} \right] \right)$$

$$\text{インピーダンス } Z = \sqrt{R^2 + X^2}$$

$$\text{対称短絡電流 } I_{sym} = V/Z$$

付表11 単相3線式変圧器のインピーダンス

変圧器 容量 (kVA)	外 線 間 (200V) ①				外線-中性線間(100V) ②			
	インピーダンス(mΩ)			%インピー ダンス (%)	インピーダンス(mΩ)			%インピー ダンス (%)
	R _T	X _T	Z _T		R _T	X _T	Z _T	
10	84.0	36.0	91.4	2.3	29.0	11.0	31.0	1.55
20	34.0	30.0	45.3	2.3	13.0	8.50	15.5	1.55
30	20.0	22.7	30.2	2.3	8.34	6.00	10.3	1.55
50	11.2	16.8	20.2	2.5	4.60	3.80	5.96	1.50
75	7.47	12.8	14.8	2.8	3.46	2.94	4.54	1.70
100	5.60	9.60	11.1	2.8	2.50	2.20	3.34	1.65
150	3.20	6.67	7.39	2.8	1.54	1.66	2.26	1.70
200	2.40	5.40	5.91	3.0	1.10	1.40	1.78	1.80
300	1.47	4.67	4.90	3.5	0.66	1.16	1.34	2.00
500	0.88	2.88	3.01	3.8	0.40	0.84	0.92	2.20

(注意)

①基本回路における外線間の短絡点(A)の場合に使用する。

②基本回路における外線-中性線間短絡点(B)の場合に使用する。

付記

上記の計算法はオーム法と呼ばれる方法ですが、これ以外にインピーダンスをオームではなく「パーセントインピーダンス」で表すことがあります。この場合の換算は下記の公式によってください。

■パーセントインピーダンス

$$= (\text{オームインピーダンス} \times \text{基準VA}) \times 100 / V^2$$